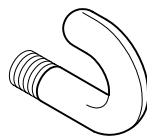
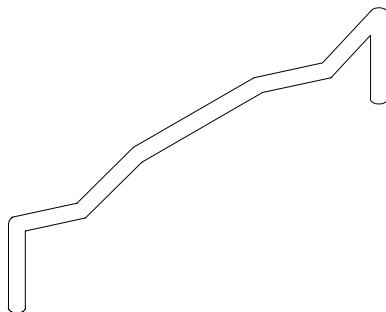


D260 ②④(1枚あたり)
D170 ③②③④(1枚あたり)
金ダボ:2個

ボンフック:2個



M字金具:2個



棚板 D260mm使用方法

棚板の裏側にあるスライドラッチを使用することで「垂直」「傾斜」「水平」に取り付ける事ができます。

～注意～

棚板を「垂直」「傾斜」で設置する際は設置する前に**ボンフックを先に取り付けてください**。棚板をセットしてしまうと**ボンフックの取り付けができなくなります**。

ボンフック取り付けのネジ込みは必要以上に行わないでください。棚板や本体にキズをつける恐れがあります。

本棚板を本体に設置する際には必ず棚板裏側のスライドラッチのシャフトを一時的に収納して頂き、設置を行ってください。収納せずに行いますと、本体をキズつけたり、ラッチの破損原因となります。

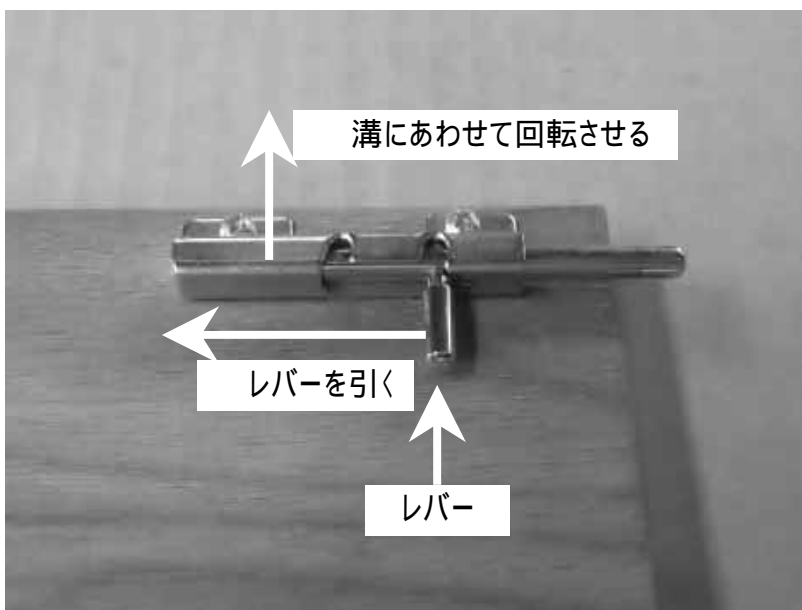
スライド式ラッチ 使用方法

棚板裏側にあります「スライドラッチ」は梱包されている状態では開放状態となっています。

(ラッチに内蔵されているバネの力で常にシャフトが出ている状態になっています。)

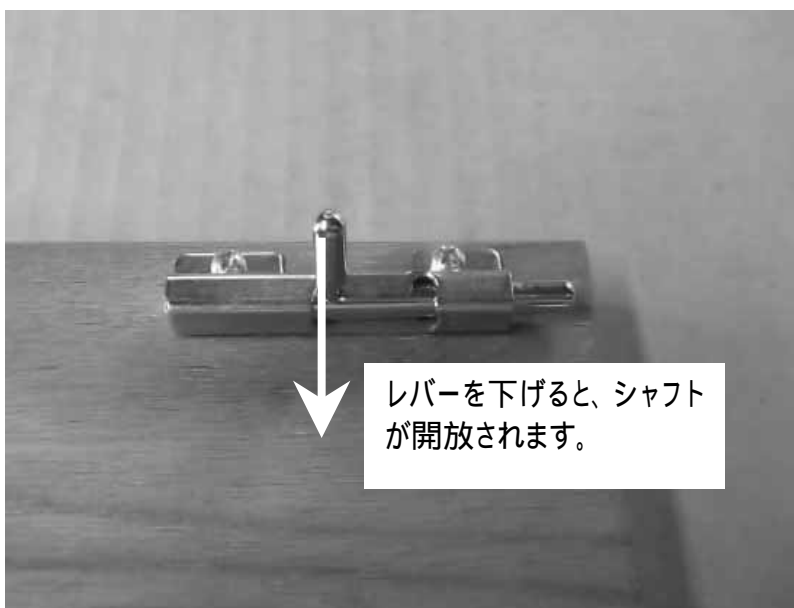
棚板取り付け時には必ずシャフトを一時的に収納して、取り付けを行って下さい。収納せずに行いますと本体を傷付けたら、ラッチの破損の原因となります。

収納方法



シャフトを収納した状態

スライドラッチのレバーを金具の溝に沿って棚板の内側に引いてください。最後まで引いたら溝にあわせてレバーを上げてください。レバーを上げる事でシャフトが回転し、スライドラッチ本体にレバーがかかり、シャフトを収納した状態が継続されます。レバーを外すことでシャフトが開放されます。



棚板はこの状態で設置してください。棚板の設置の際はレバーを下げて、シャフトを開放して、金ダボ取り付け用ネジ穴に差し込みます。

垂直取付について

オープンタイプは本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に4列あります。全てに取り付ける事が可能です。スライドタイプはスライドボックスにのみ取り付けが可能です。

～注意～

棚板を設置する際は設置する前に**ボンフックを先に取り付けてください**。棚板をセットしてしまうと**ボンフックの取り付けができなくなります**。

スライドタイプの本体側への取り付けは、スライドボックスに干渉してしまいます。取り付けは行わないでください。

シャフトの差し込み可能な位置は下から7段目より上に設置してください。6段目より下に差し込みますと、棚板が本体に干渉してキズをつけたり破損したりする恐れがあります。

特注上置については、H380mm以上にのみ垂直取り付けが可能です。

取付方法

棚板左右についているネジ穴に付属のボンフックを取り付けてください。



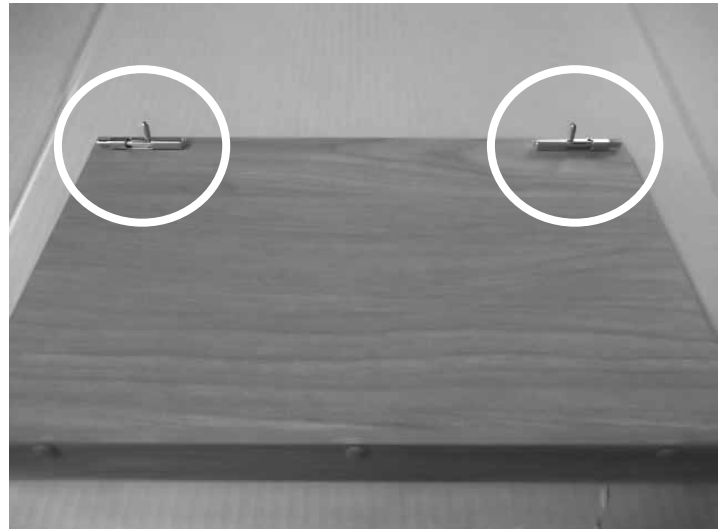
拡大



棚板裏側左右にあるスライドラッチのシャフトを収納します。

(印内のスライドラッチは収納した状態です。)

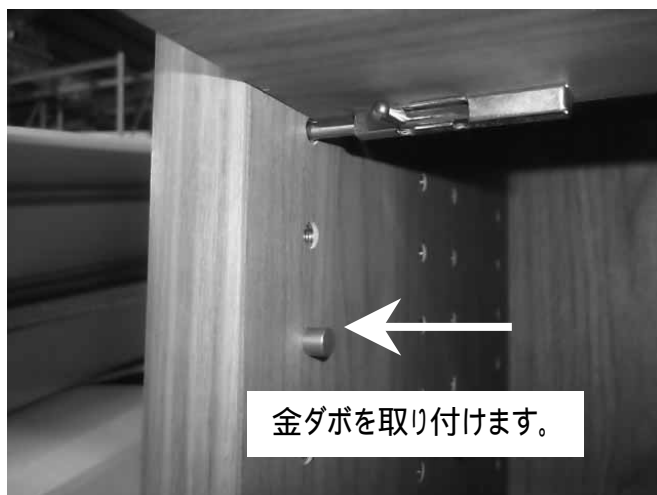
収納方法については、1ページ目をご参照ください。



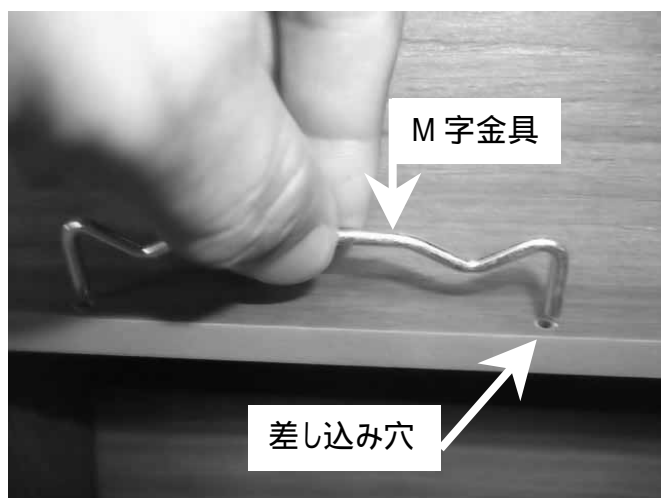
本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴に棚板裏の左右にあるスライドラッチのシャフトをあわせ、レバーを外してネジ穴に差し込みます。



棚板端を持ち上げて、シャフトを差し込んだネジ穴から2段下に付属の金ダボを取り付けてください。この金ダボは棚板が後ろに入らないようにする為のものです。必ず取り付けてください。



付属の転落防止用のM字金具を受け板に開いている差し込み穴に差し込んでください。



お気に入りの本や音楽・映像ソフト等を収納してください。
(ボンフックを利用してラバーバンド等で固定していただけると、転落防止になります。)
設置完了状態



傾斜取付について

オープンタイプは本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に4列あります。前から「1列目・2列目」「3列目・4列目」の様
に棚板のシャフトを差し込む列の前の列に棚板を受ける為の金ダボを取り付ける列や高さを変える事で棚板を斜めに取り付ける事が可能です。スライドタイプはスライドボックスにのみ取り付ける事が可能です。

～注意～

棚板を設置する際は設置する前に**ボンフックを先に取り付けてください**。棚板をセットしてしまうと**ボンフックの取り付けができなくなります**。

設置する位置・傾斜の角度によっては本体よりも棚板がはみ出します。棚板の先端に接触して思わぬケガをしたり、本体や棚板を傷付けたり破損しない様、ご注意ください。

設置した際に棚板が受けられる位置に金ダボの取り付けをしてください。

シャフトの差し込み可能な位置は下から7段目より上に設置してください。6段目より下に差し込みますと、棚板が本体に干渉してキズをつけたり破損したりする恐れがあります。

スライドタイプの本体側への取り付けは、スライドボックスに干渉してしまいます。取り付けは行わないでください。

特注上置については、H380mm以上にのみ垂直取り付けが可能です。

取付方法

垂直取り付けと同様に ボンフックの取り付け、 スライドラッチの収納を行ってください。

本体側板にある手前から2列目もしくは4列目の金ダボ取り付け用のネジ穴に棚板裏の左右にあるスライドラッチのシャフトをあわせ、レバーを外してネジ穴に差し込みます。



棚板端を持ち上げて、シャフトを差し込んだネジ穴の手前の列のネジ穴(2段～7段下)に付属の金ダボを取り付けてください。

この金ダボは棚板を受ける為の物です。必ず取り付けてください。

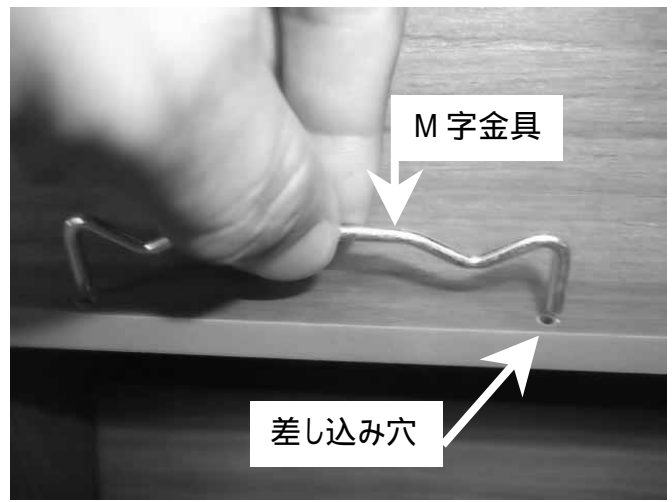
金ダボの取り付け位置により、棚板の傾斜角度が変更できます。

～ご注意～

取り付け場所・取り付け角度によっては、棚板が本体よりはみ出しますので、棚板の先端に接触して思わぬケガをしたり、本体や棚板を傷つけたり破損しない様、十分にご注意ください。



付属の転落防止用のM字金具を受け板に開いている
差し込み穴に差し込んでください。



お気に入りの本や音楽・映像ソフト等を収納してください。
(ボンフックを利用してラバーバンド等で固定していただくと、転落防止になります。)

設置完了状態



水平取付について

オープンタイプは本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に4列あります。前から「1列目」もしくは「4列目」に棚板のシャフトを差し込み、「4列目」もしくは「1列目」に棚板を受ける為の金ダボを取り付ける事で棚板として利用することが可能です。

～注意～

スライドタイプの本体側への取り付けは、棚板を受ける為の金ダボが取り付けられません。取り付けないでください。

スライドボックス用のD260mm棚板については、水平取付はできません。

取付方法

垂直取り付けと同様にスライドラッチの収納を行ってください。(ボンフックは取り付けないでください。)

棚板端を手前にして転落防止にする場合は設置する高さの1列目に、奥にする場合は4列目に金ダボを取り付けてください。

(画像は棚板端を手前にして取り付けを行います。)



棚板を で取り付けした金ダボの上ののせ、棚板を差し込みます。

棚板裏のシャフトを4列目の金ダボのネジ穴にあわせ、シャフトを差し込んでください。



棚板に付属のボンフックを本体にも取り付ける事ができます。

本体に取り付けたボンフックを利用してラバーバンド等で固定していただくと、転落防止になります。

(ラバーバンドは付属しておりません。)

